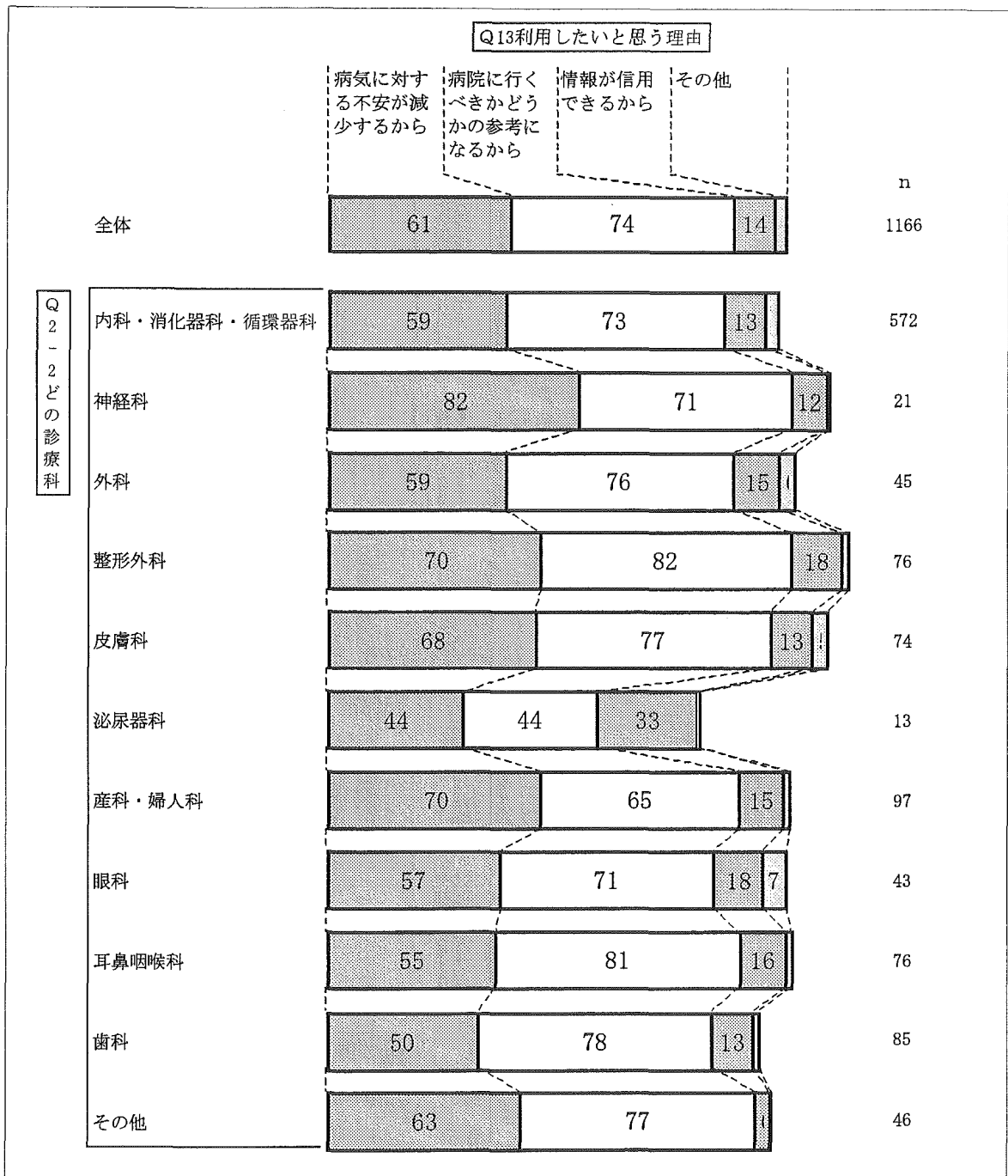


問 2-2「どの分野の診療科」と問 13「自己診断システムを利用したい理由」のクロス集計分析

質問方法：

「自己診断システムを利用したいと思う理由は何ですか？」（複数回答可）

		合計	Q13利用したいと思う理由					不明	非該当
			病気に対する不安が減少するから	病院に行くべきかどうかの参考になるから	情報が信用できるから	その他			
全体		1166 100.0	533 60.9	647 73.9	120 13.7	26 3.0	0	291	
Q 2 2 ど の 診 療 科	内科・消化器科・循環器科	572 100.0	244 58.8	304 73.3	54 13.0	13 3.1	0	157	
	神経科	21 100.0	14 82.4	12 70.6	2 11.8	0 0.0	0	4	
	外科	45 100.0	20 58.8	26 76.5	5 14.7	2 5.9	0	11	
	整形外科	76 100.0	40 70.2	47 82.5	10 17.5	1 1.8	0	19	
	皮膚科	74 100.0	38 67.9	43 76.8	7 12.5	3 5.4	0	18	
	泌尿器科	13 100.0	4 44.4	4 44.4	3 33.3	0 0.0	0	4	
	産科・婦人科	97 100.0	57 69.5	53 64.6	12 14.6	2 2.4	0	15	
	眼科	43 100.0	16 57.1	20 71.4	5 17.9	2 7.1	0	15	
	耳鼻咽喉科	76 100.0	34 54.8	50 80.6	10 16.1	1 1.6	0	14	
	歯科	85 100.0	32 50.0	50 78.1	8 12.5	1 1.6	0	21	
	その他	46 100.0	22 62.9	27 77.1	2 5.7	0 0.0	0	11	



<考察>

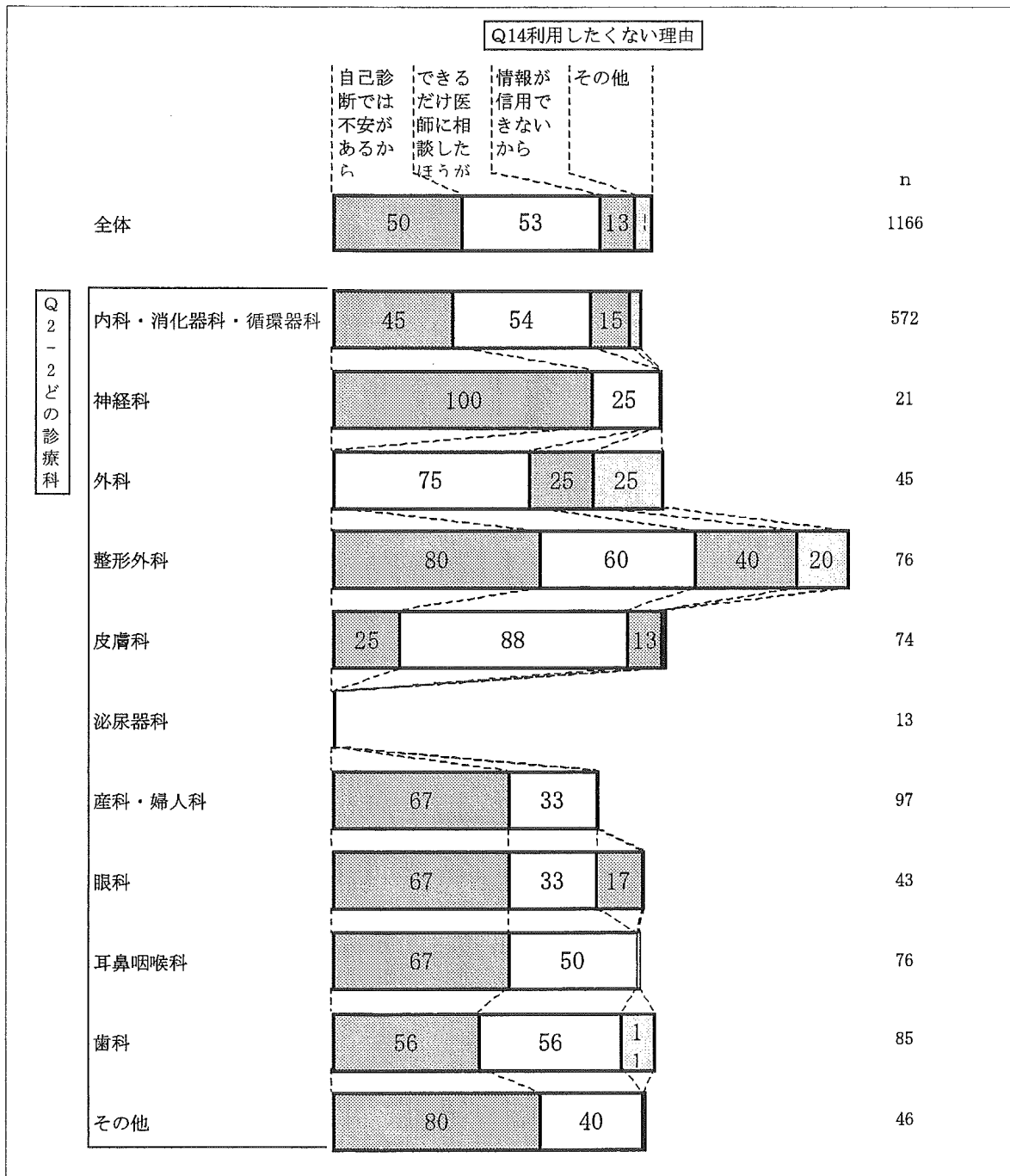
診療科ごとのばらつきが見られるが、これについては病気に対する認識、知識の差が要因となっていると考えられる。

問 2-2 「どの分野の診療科」と問 14 「自己診断システムを利用したくない理由」のクロス集計分析

質問方法：

「自己診断システムを利用したくないと思う理由は何ですか？」（複数回答可）

		合計	Q14利用したくない理由				不明
			自己診断 では不安 があるか ら	できるだ け医師に 相談した ほうが良	情報が信 用できな いから	その他	
全体		1166 100.0	63 50.4	66 52.8	16 12.8	6 4.8	0
Q 2 2 ど の 診 療 科	内科・消化器科・ 循環器科	572 100.0	32 45.1	38 53.5	11 15.5	3 4.2	0
	神経科	21 100.0	4 100.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	0
	外科	45 100.0	0 0.0	3 75.0	1 25.0	1 25.0	0
	整形外科	76 100.0	4 80.0	3 60.0	2 40.0	1 20.0	0
	皮膚科	74 100.0	2 25.0	7 87.5	1 12.5	0 0.0	0
	泌尿器科	13 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0
	産科・婦人科	97 100.0	4 66.7	2 33.3	0 0.0	0 0.0	0
	眼科	43 100.0	4 66.7	2 33.3	1 16.7	0 0.0	0
	耳鼻咽喉科	76 100.0	4 66.7	3 50.0	0 0.0	0 0.0	0
	歯科	85 100.0	5 55.6	5 55.6	0 0.0	1 11.1	0
	その他	46 100.0	4 80.0	2 40.0	0 0.0	0 0.0	0



<考察>

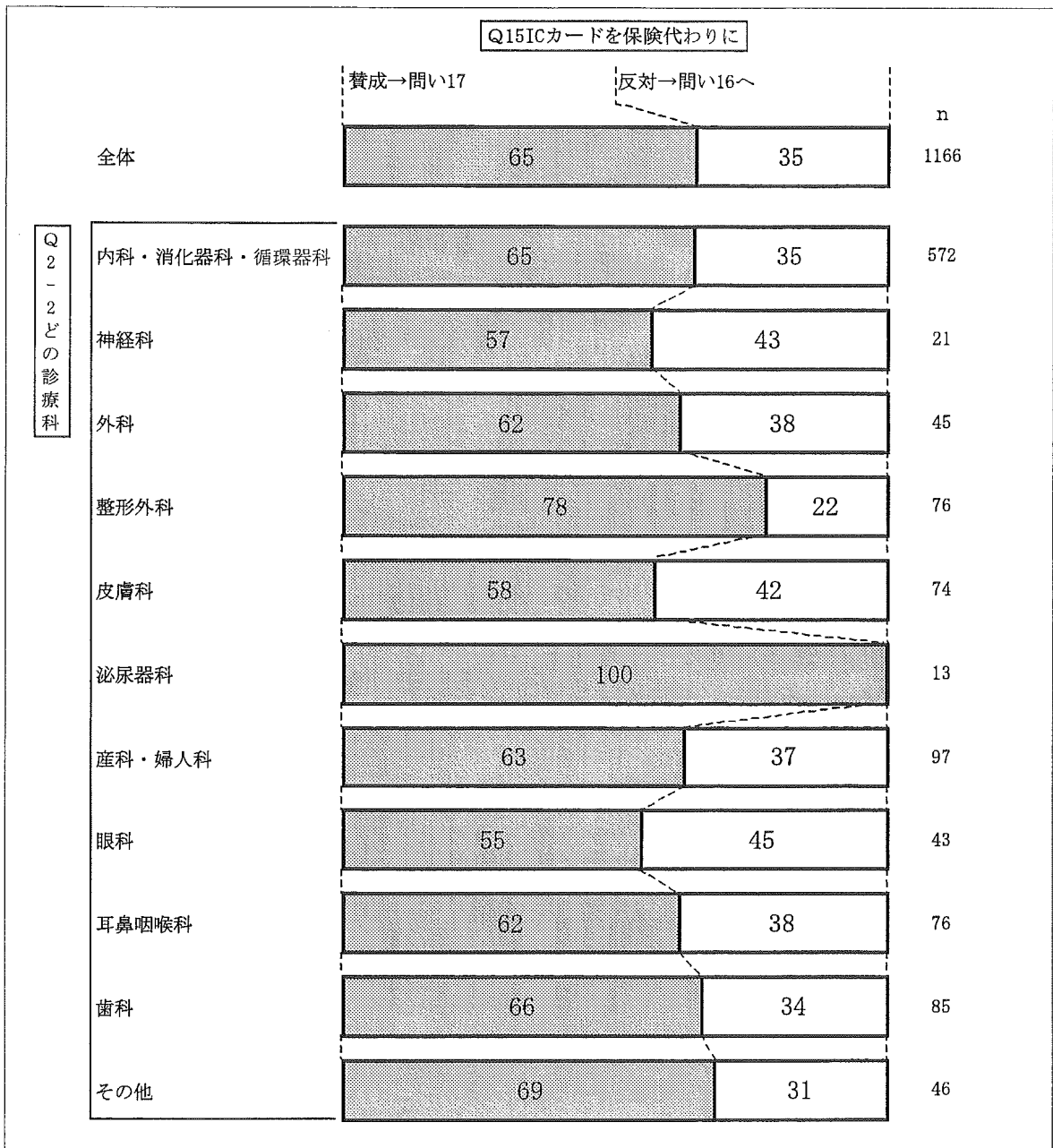
泌尿器科はデータがないため除外すると、外科の割合が他の診療科と大きく異なる。この外科の数値についてであるが、外科は他の診療科と比較して重要性が極めて高い症状であるため、医者との相談を要したいという心理が表れているものと考えられる。

問 2-2 「どの分野の診療科」と問 15 「IC カードを保険代わりに使いたいかな否か」のクロス集計分析

質問方法：

「もし、IC カードが保険証の機能を兼ね備えていたなら、IC カードで保険証の機能を果たせ、また保険証の内容を個人単位で管理し、コンパクトに持ち運べる利便性があります。このように IC カードに保険証の機能を組み込む事についてどう思いますか」

		合計	Q15ICカードを保険代わりに		
			賛成→問 い17	反対→問 い16へ	不明
全体		1166 100.0	750 64.7	410 35.3	6
Q 2 2 ど の 診 療 科	内科・消化器科・ 循環器科	572 100.0	372 65.1	199 34.9	1
	神経科	21 100.0	12 57.1	9 42.9	0
	外科	45 100.0	28 62.2	17 37.8	0
	整形外科	76 100.0	59 77.6	17 22.4	0
	皮膚科	74 100.0	43 58.1	31 41.9	0
	泌尿器科	13 100.0	13 100.0	0 0.0	0
	産科・婦人科	97 100.0	61 62.9	36 37.1	0
	眼科	43 100.0	22 55.0	18 45.0	3
	耳鼻咽喉科	76 100.0	47 61.8	29 38.2	0
	歯科	85 100.0	56 65.9	29 34.1	0
	その他	46 100.0	31 68.9	14 31.1	1



<考察>

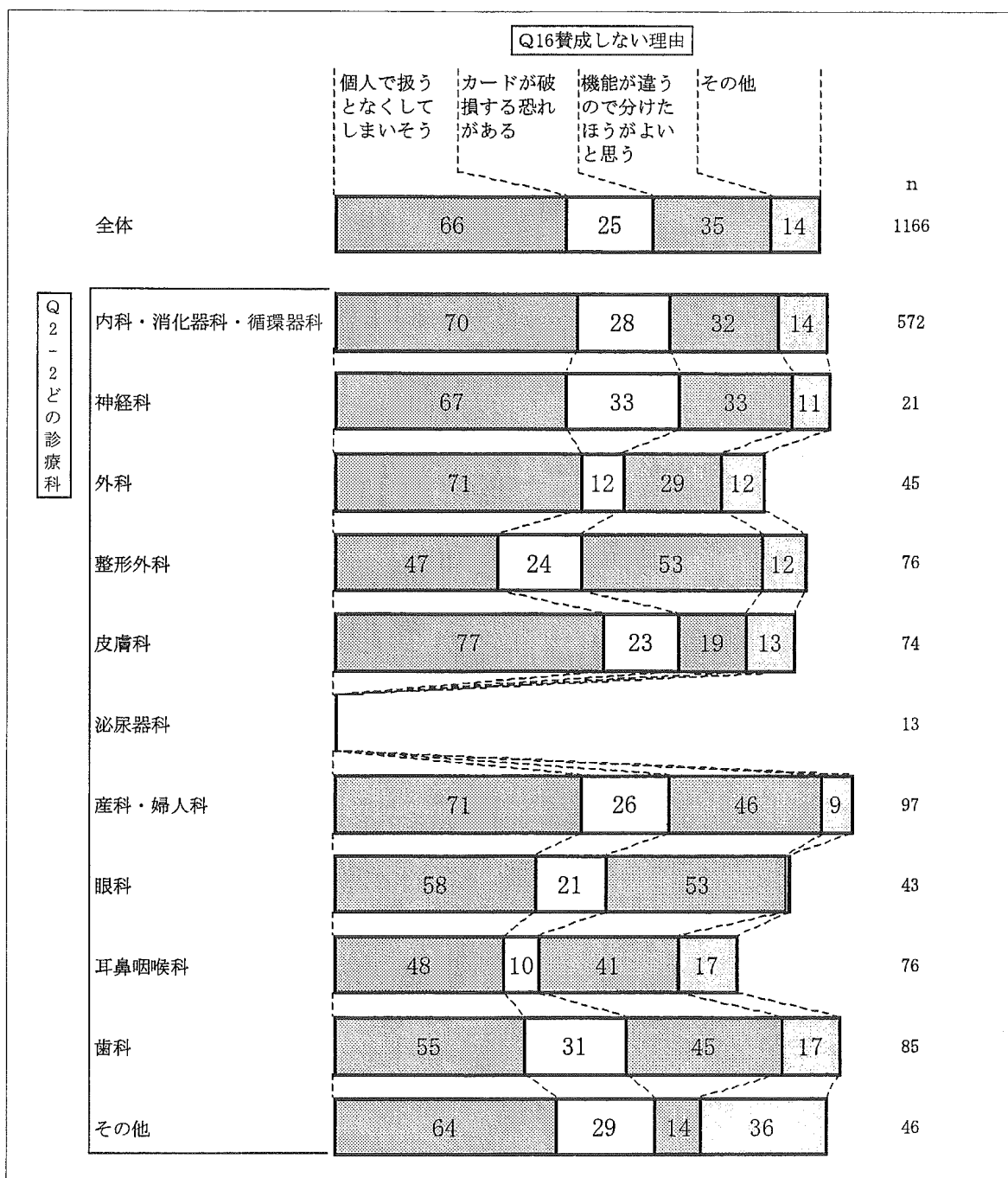
泌尿器科が飛びぬけた値となっているが、これについてもデータ数が少ない影響と考えた方が無難であろう。診療科ごとでは特に大きな差異はないのではないかと考えられる。

問 2-2 「どの分野の診療科」と問 16 「IC カード代わりに賛成しない理由」のクロス集計分析

質問方法：

「賛成しない理由は何ですか？」（複数回答可）

	合計	Q16賛成しない理由						
		個人で扱うとなくしてしま いそう	カードが破損する 恐れがある	機能が違うので分 けたほうがよいと	その他	不明	非該当	
全体	1166 100.0	269 65.9	100 24.5	143 35.0	56 13.7	0	758	
Q 2 2 ど の 診 療 科	内科・消化器科・ 循環器科	572 100.0	137 69.9	54 27.6	62 31.6	27 13.8	0	376
	神経科	21 100.0	6 66.7	3 33.3	3 33.3	1 11.1	0	12
	外科	45 100.0	12 70.6	2 11.8	5 29.4	2 11.8	0	28
	整形外科	76 100.0	8 47.1	4 23.5	9 52.9	2 11.8	0	59
	皮膚科	74 100.0	24 77.4	7 22.6	6 19.4	4 12.9	0	43
	泌尿器科	13 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0	13
	産科・婦人科	97 100.0	25 71.4	9 25.7	16 45.7	3 8.6	0	62
	眼科	43 100.0	11 57.9	4 21.1	10 52.6	0 0.0	0	24
	耳鼻咽喉科	76 100.0	14 48.3	3 10.3	12 41.4	5 17.2	0	47
	歯科	85 100.0	16 55.2	9 31.0	13 44.8	5 17.2	0	56
	その他	46 100.0	9 64.3	4 28.6	2 14.3	5 35.7	0	32



<考察>

診療科ごとでは特に大きな差異はないのではないかと考えられる。

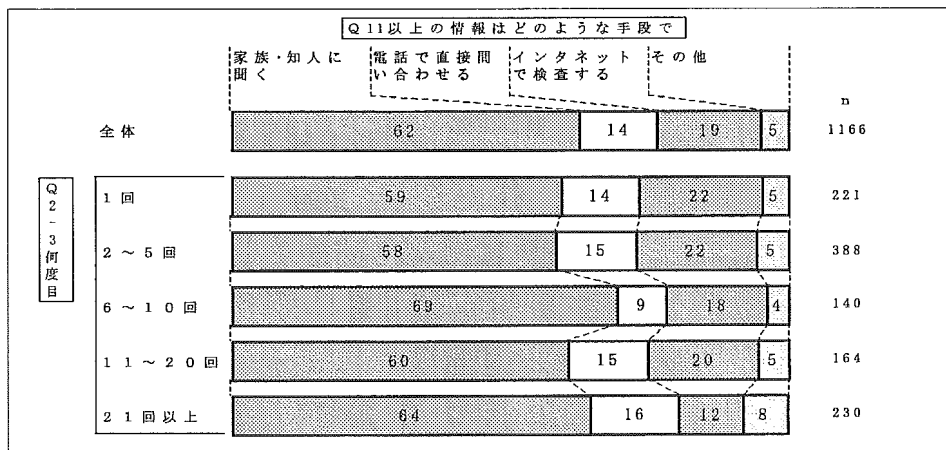
問 2-3 「その病院に行くのが何回目ですか」と問 11 「情報を手に入れる手段」のクロス集計分析

質問方法：

「その病院に行くのが何回目ですか」

「情報を手に入れる手段」

		合計	Q11以上の情報はどのような手段で				不明
			家族・知人に聞く	電話で直接問い合わせる	インターネットで検査する	その他	
全体		1166 100.0	706 61.0	165 14.3	223 19.3	63 5.4	9
Q 2 3 何 度 目	1回	221 100.0	130 59.4	31 14.2	48 21.9	10 4.6	2
	2～5回	388 100.0	224 58.0	57 14.8	84 21.8	21 5.4	2
	6～10回	140 100.0	97 69.8	12 8.6	25 18.0	5 3.6	1
	11～20回	164 100.0	98 60.1	25 15.3	32 19.6	8 4.9	1
	21回以上	230 100.0	146 64.0	36 15.8	28 12.3	18 7.9	2



<考察>

最近診察を受けに行った病院に今まで行った回数に関係なく、家族・知人に聞くという回答が多くなっている。この結果より、患者が病院の選択する際に必要となる情報は家族や知人から進められるなど、口コミによって広がっていると考えられる。

また、二番目に多かった回答は、インターネットでの検索となった。近年ではインターネットが普及してきており、今後、患者が情報の入手手段としてこの方法を選択する機会が増えると考えられるので、病院側としては、患者の求める情報を適切に提供できるようにする必要があると考えられる。

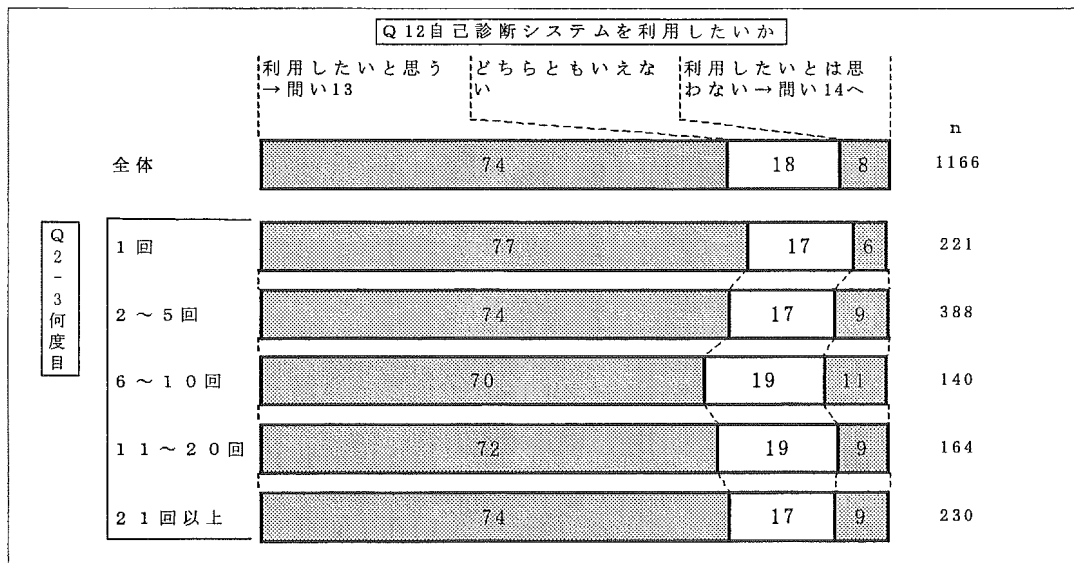
問 2-3「その病院に行くのが何回目ですか」と問 12「自己診断ができる仕組みを利用したいと思うか」のクロス集計分析

質問方法：

「その病院に行くのが何回目ですか」

「自己診断ができる仕組みを利用したいと思うか」

		合計	Q12自己診断システムを利用したい			不明
			利用したいと思う →問13	どちらともいえない	利用したいとは思わない →問14へ	
全体		1166 100.0	858 73.9	205 17.7	98 8.4	5
Q 2 3 何 度 目	1回	221 100.0	168 76.7	38 17.4	13 5.9	2
	2～5回	388 100.0	287 74.2	67 17.3	33 8.5	1
	6～10回	140 100.0	98 70.5	26 18.7	15 10.8	1
	11～20回	164 100.0	119 72.6	31 18.9	14 8.5	0
	21回以上	230 100.0	170 73.9	39 17.0	21 9.1	0



<考察>

最近診察を受けに行った病院に今まで行った回数に関係なく、自己診断システムを利用したいという回答が多くなっている。この結果より、多くの患者が病院に行く以前に、ある程度の病状を知りたいと思っているということが考えられる。

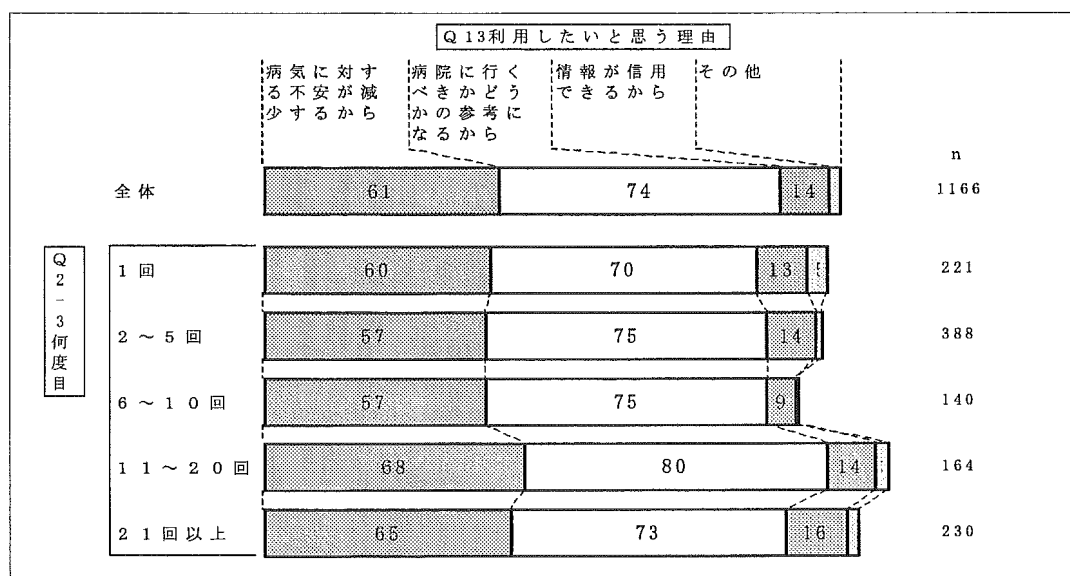
問 2-3 「その病院に行くのが何回目ですか」と問 13 「利用したいと思う理由」のクロス集計分析

質問方法：

「その病院に行くのが何回目ですか」

「利用したいと思う理由は何ですか」

		合計	Q13利用したいと思う理由						
			病気に対する不安が減少するから	病院に行くべきかどうかの参考になるから	情報が信用できるから	その他	不明	非該当	
全体		1166	533	647	120	26	0	291	
		100.0	60.9	73.9	13.7	3.0			
Q 2 3 何 度 目	1回	221	103	119	22	8	0	50	
			100.0	60.2	69.6	12.9	4.7		
	2～5回	388	166	218	40	7	0	99	
			100.0	57.4	75.4	13.8	2.4		
	6～10回	140	58	76	9	0	0	39	
			100.0	57.4	75.2	8.9	0.0		
11～20回	164	81	96	17	4	0	44		
		100.0	67.5	80.0	14.2	3.3			
21回以上	230	115	128	28	7	0	54		
		100.0	65.3	72.7	15.9	4.0			



<考察>

最近診察を受けに行った病院に今まで行った回数に関係なく、自己診断システムを利用する理由として、病院に行くべきかどうかの参考にする、病気に対する不安の減少が多くなっている。この結果より、患者は体調が悪い際に、病院へ行くかどうかを決定したり、病気に対する不安を和らげるために、自分の病気に対するある程度の情報を求める傾向があると考えられる。

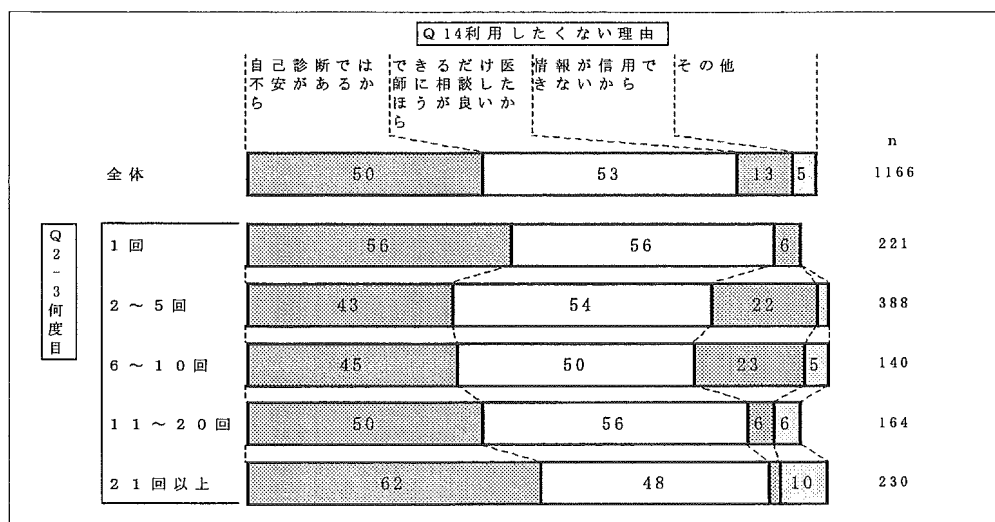
問 2-3 「その病院に行くのが何回目ですか」と問 14 「利用したくないと思う理由」のクロス集計分析

質問方法：

「その病院に行くのが何回目ですか」

「利用したくないと思う理由は何ですか」

		合計	Q14利用したくない理由				不明
			自己診断では不安があるから	できるだけ医師に相談したほうが良い	情報が信用できないから	その他	
全体		1166	63	66	16	6	0
		100.0	50.4	52.8	12.8	4.8	
Q 2 3 何 度 目	1回	221	10	10	1	0	0
		100.0	55.6	55.6	5.6	0.0	
	2～5回	388	16	20	8	1	0
		100.0	43.2	54.1	21.6	2.7	
	6～10回	140	10	11	5	1	0
		100.0	45.5	50.0	22.7	4.5	
11～20回	164	9	10	1	1	0	
	100.0	50.0	55.6	5.6	5.6		
21回以上	230	18	14	1	3	0	
	100.0	62.1	48.3	3.4	10.3		



<考察>

最近診察を受けに行った病院に今まで行った回数により、自己診断では不安、医師に相談したほうがよいという回答が多くなっている。また、回数が多くなるごとに自己診断では不安であるという回答の割合が増えてきているが、これは、回数が多いということはそれだけ医師に診てもらえる機会が多いということであり、医師への信頼が高くなるということである。これより、回数が多くなるごとに自己診断では不安であるという回答の割合が増えると考えられる。

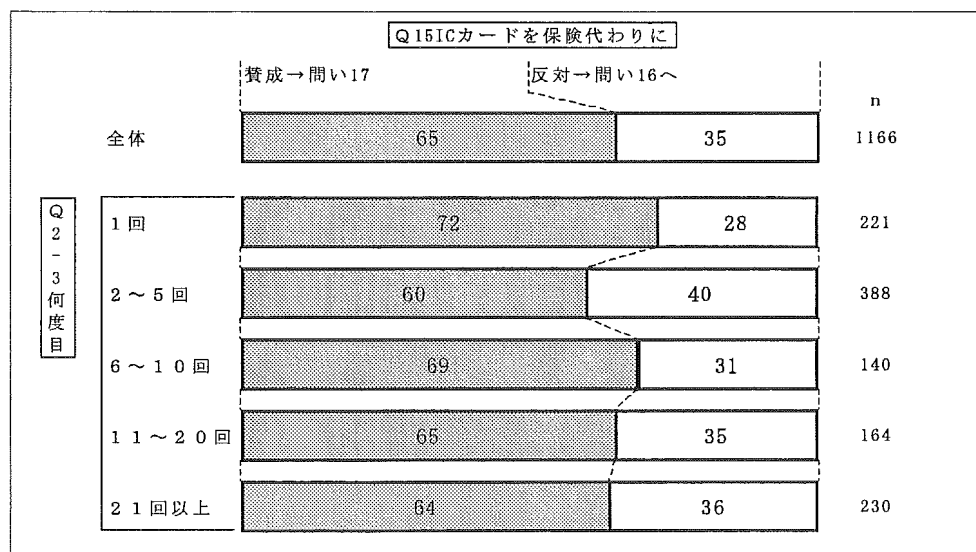
問 2-3 「その病院に行くのが何回目ですか」と問 15 「IC カードを保険証の代わりにすることの是非」のクロス集計分析

質問方法：

「その病院に行くのが何回目ですか」

「IC カードに保険証の機能を組み込むことに賛成ですか」

		合計	Q 15 ICカードを保険代わりに		
			賛成→問 い 17	反対→問 い 16へ	不明
全体		1166 100.0	750 64.7	410 35.3	6
Q 2 3 何 度 目	1 回	221 100.0	158 71.8	62 28.2	1
	2 ~ 5 回	388 100.0	232 60.3	153 39.7	3
	6 ~ 10 回	140 100.0	96 68.6	44 31.4	0
	11 ~ 20 回	164 100.0	106 65.0	57 35.0	1
	21 回以上	230 100.0	148 64.3	82 35.7	0



<考察>

-最近診察を受けに行った病院に今まで行った回数に関係なく、IC カードに保険証の機能を組み込むことに賛成するほうが多くなっている。これより、保険証の内容を個人単位で管理し、コンパクトに持ち運べるなどのメリットが、紛失や破損などのデメリットよりも患者の中では勝っているのではないかと考えられる。

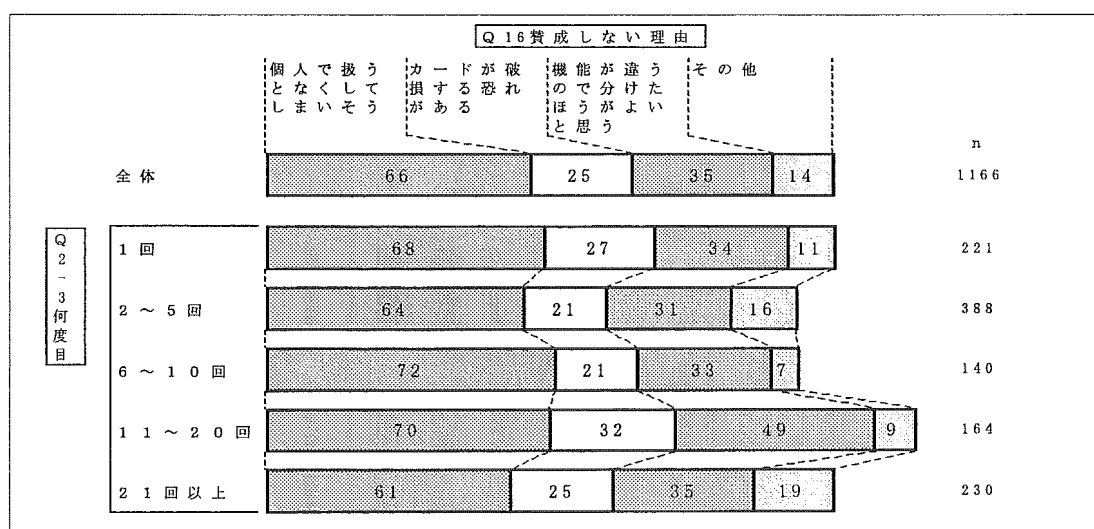
問 2-3 「その病院に行くのが何回目ですか」と問 16 「IC カードを保険証の代わりにすることに賛成しない理由」のクロス集計分析

質問方法：

「その病院に行くのが何回目ですか」

「IC カードに保険証の機能を組み込むことに賛成しない理由は何ですか」

		合計	Q16賛成しない理由					非該当
			個人で扱 うとなく してしま いそう	カードが破 損する 恐れが ある	機能が違 うので分 けたほう がよいと 思う	その他	不明	
全体		1166 100.0	269 65.9	100 24.5	143 35.0	56 13.7	0	758
Q 2 3 何 度 目	1 回	221 100.0	42 67.7	17 27.4	21 33.9	7 11.3	0	159
	2～5 回	388 100.0	97 64.2	31 20.5	47 31.1	24 15.9	0	237
	6～10 回	140 100.0	31 72.1	9 20.9	14 32.6	3 7.0	0	97
	11～20 回	164 100.0	40 70.2	18 31.6	28 49.1	5 8.8	0	107
	21 回以上	230 100.0	51 61.4	21 25.3	29 34.9	16 19.3	0	147



<考察>

最近診察を受けに行った病院に今まで行った回数に関係なく、同じような傾向が出て降り、なくしてしまいそうという回答が多かった。これにより、IC カードに保険証の機能を組み込むことに賛成しない理由として、患者が個人管理ということから起こりうるデメリットを懸念していると考えられる。

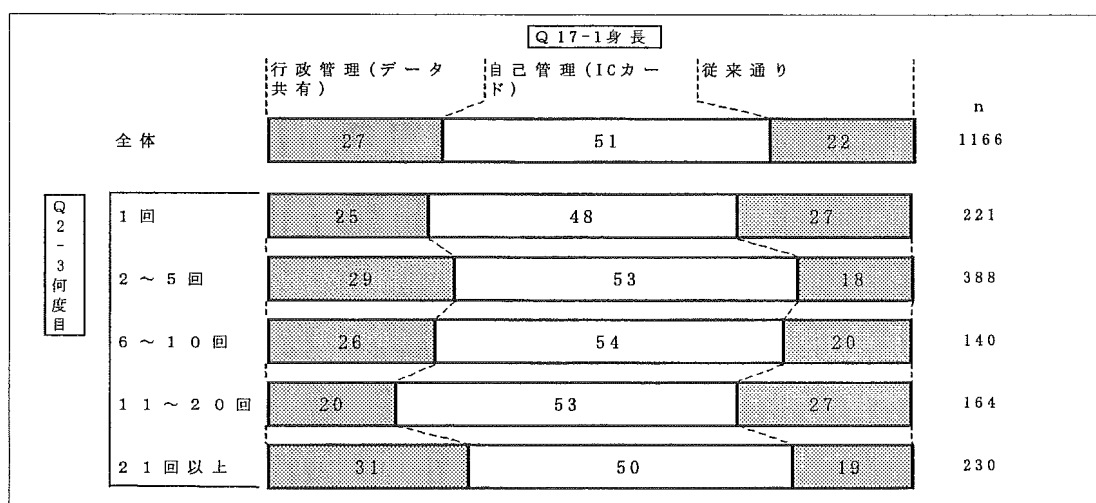
問 2-3「その病院に行くのが何回目ですか」と問 17-1「どのように身長情報を管理したいか」のクロス集計分析

質問方法：

「その病院に行くのが何回目ですか」

「どのように自分の身長情報を管理したいですか」

		合計	Q 17-1 身長			
			行政管理 (データ共有)	自己管理 (ICカード)	従来通り	不明
全体		1166 100.0	272 26.9	518 51.3	220 21.8	156
Q 2 3 何 度 目	1 回	221 100.0	48 25.4	90 47.6	51 27.0	32
	2 ~ 5 回	388 100.0	93 28.6	174 53.5	58 17.8	63
	6 ~ 10 回	140 100.0	32 25.8	67 54.0	25 20.2	16
	11 ~ 20 回	164 100.0	29 20.4	75 52.8	38 26.8	22
	21 回以上	230 100.0	65 31.1	104 49.8	40 19.1	21



<考察>

最近診察を受けに行った病院に今まで行った回数に関係なく、同じような傾向が出ており、自己管理が最も多くなっている。これより、患者は身長情報について個人で管理するのがメリットとデメリットの差が大きいと考えているということと、個人で管理したいと考えているのではと考えられる。

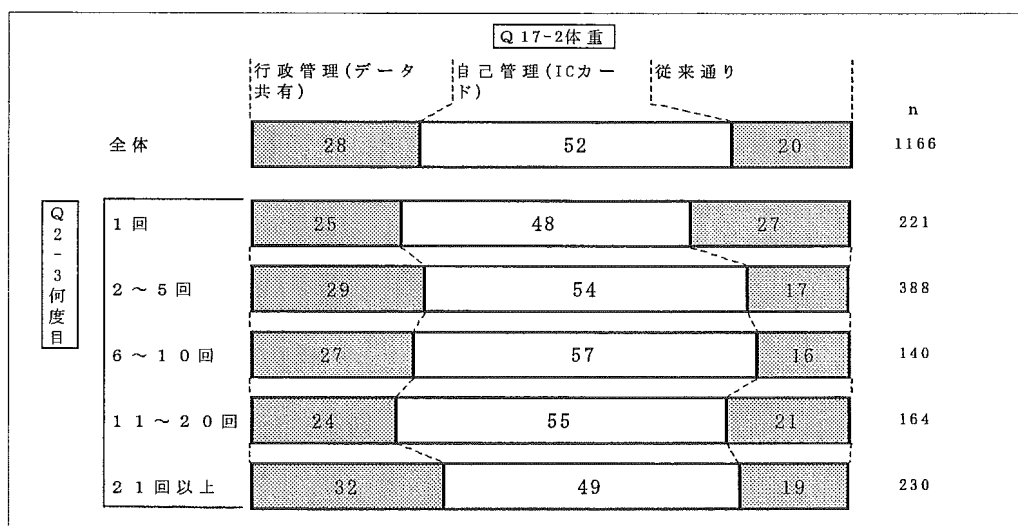
問 2-3 「その病院に行くのが何回目ですか」と問 17-2 「どのように体重の情報を管理したいか」のクロス集計分析

質問方法：

「その病院に行くのが何回目ですか」

「どのように自分の体重の情報を管理したいか」

		合計	Q 17-2体重			不明
			行政管理(データ共有)	自己管理(ICカード)	従来通り	
全体		1166 100.0	278 27.6	529 52.5	200 19.9	159
Q 2 3 何 度 目	1 回	221 100.0	47 24.7	92 48.4	51 26.8	31
	2 ~ 5 回	388 100.0	93 28.7	177 54.6	54 16.7	64
	6 ~ 10 回	140 100.0	34 27.4	70 56.5	20 16.1	16
	11 ~ 20 回	164 100.0	33 23.6	78 55.7	29 20.7	24
	21 回以上	230 100.0	66 31.7	103 49.5	39 18.8	22



<考察>

最近診察を受けに行った病院に今まで行った回数に関係なく、同じような傾向が出ており、自己管理が最も多くなっている。これより、患者は体重の情報について個人で管理するのがメリットとデメリットの差が大きいと考えているということと、個人で管理したいと考えているのではと考えられる。

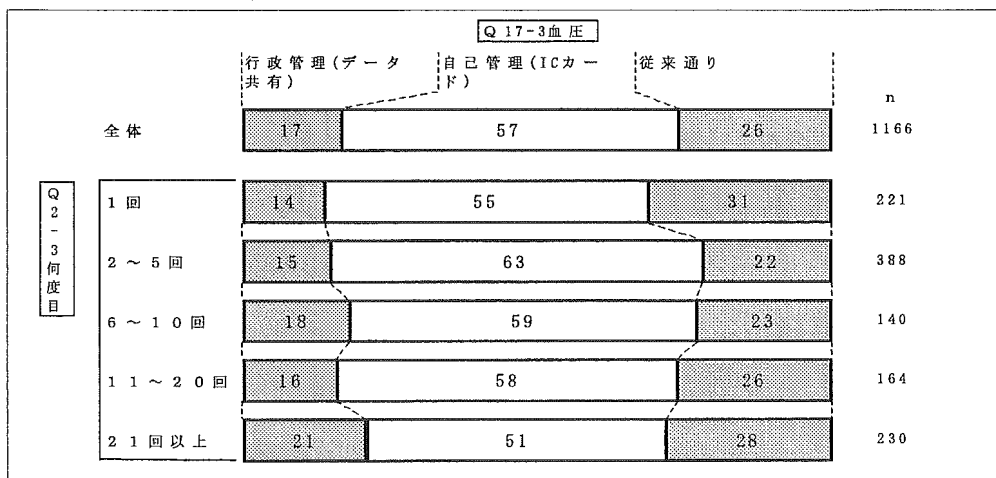
問 2-3 「その病院に行くのが何回目ですか」と問 17-3 「どのように血圧の情報を管理したいか」のクロス集計分析

質問方法：

「その病院に行くのが何回目ですか」

「どのように自分の血圧の情報を管理したいですか」

		合計	Q 17-3 血圧			
			行政管理 (データ共有)	自己管理 (ICカード)	従来通り	不明
全体		1166 100.0	168 16.6	577 57.1	265 26.2	156
Q 2 3 何 度 目	1 回	221 100.0	26 13.7	105 55.3	59 31.1	31
	2 ~ 5 回	388 100.0	49 15.1	203 62.5	73 22.5	63
	6 ~ 10 回	140 100.0	22 17.7	73 58.9	29 23.4	16
	11 ~ 20 回	164 100.0	22 15.6	82 58.2	37 26.2	23
	21 回以上	230 100.0	44 21.1	106 50.7	59 28.2	21



<考察>

最近診察を受けに行った病院に今まで行った回数に関係なく、同じような傾向が出ており、自己管理が最も多くなっている。これより、患者は血圧の情報について個人で管理するのがメリットとデメリットの差が大きいと考えているということと、個人で管理したいと考えているのではと考えられる。

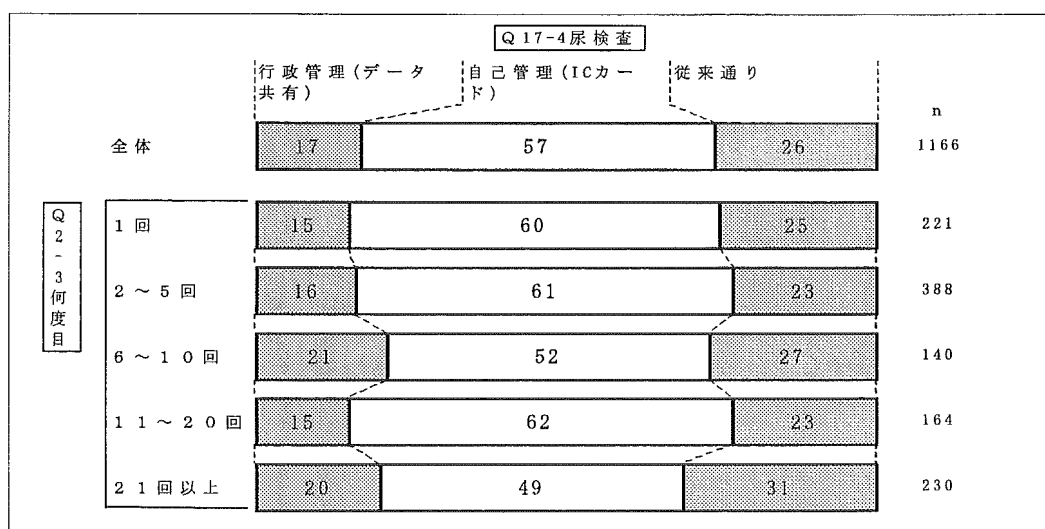
問 2-3 「その病院に行くのが何回目ですか」と問 17-4 「どのように尿検査の情報を管理した
いか」のクロス集計分析

質問方法：

「その病院に行くのが何回目ですか」

「どのように自分の尿検査の情報を管理したいですか」

		合計	Q17-4尿検査			不明
			行政管理 (データ 共有)	自己管理 (ICカー ド)	従来通り	
全体		1166 100.0	174 17.3	573 56.9	260 25.8	159
Q 2 3 何 度 目	1回	221 100.0	28 14.8	114 60.3	47 24.9	32
	2～5回	388 100.0	51 15.7	198 61.1	75 23.1	64
	6～10回	140 100.0	26 21.0	65 52.4	33 26.6	16
	11～20回	164 100.0	21 14.9	88 62.4	32 22.7	23
	21回以上	230 100.0	41 19.7	102 49.0	65 31.3	22



<考察>

最近診察を受けに行った病院に今まで行った回数に関係なく、同じような傾向が出ており、自己管理が最も多くなっている。これより、患者は尿検査の情報について個人で管理するのがメリットとデメリットの差が大きいと考えているということと、個人で管理したいと考えているのではと考えられる。

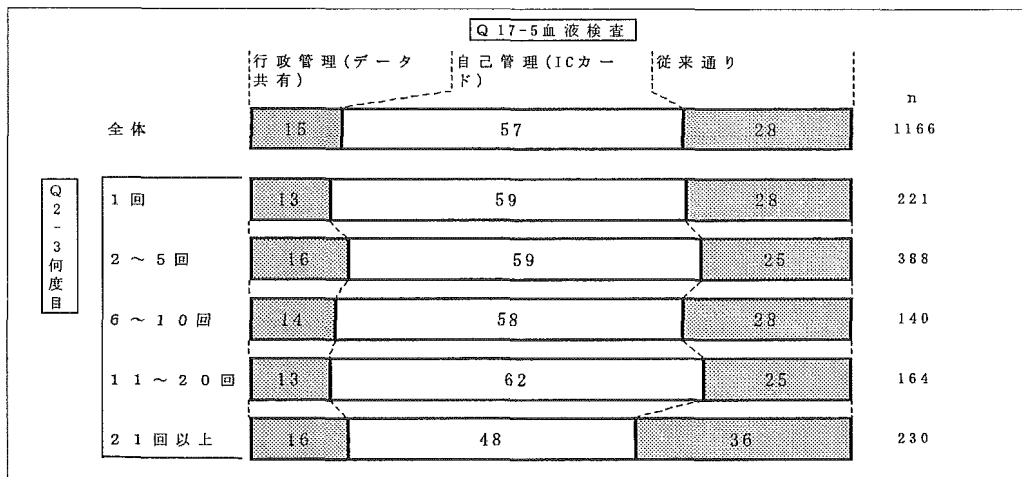
問 2-3 「その病院に行くのが何回目ですか」と問 17-5 「どのように血液検査の情報を管理したいか」のクロス集計分析

質問方法：

「その病院に行くのが何回目ですか」

「どのように自分の血液検査の情報を管理したいですか」

		合計	Q 17-5 血液検査			不明
			行政管理 (データ共有)	自己管理 (ICカード)	従来通り	
全体		1166 100.0	150 14.9	571 56.7	286 28.4	159
Q 2 3 何 度 目	1 回	221 100.0	25 13.2	111 58.4	54 28.4	31
	2 ~ 5 回	388 100.0	51 15.7	193 59.4	81 24.9	63
	6 ~ 10 回	140 100.0	17 13.7	72 58.1	35 28.2	16
	11 ~ 20 回	164 100.0	19 13.5	87 61.7	35 24.8	23
	21 回以上	230 100.0	32 15.5	100 48.5	74 35.9	24



<考察>

最近診察を受けに行った病院に今まで行った回数に関係なく、同じような傾向が出ており、自己管理が最も多くなっている。これより、患者は体重の情報について個人で管理するのがメリットとデメリットの差が大きいと考えているということと、個人で管理したいと考えているのではと考えられる。また、回数が 21 回以上の場合では出は自己管理の割合がほかの場合に比べ小さくなり、その分、従来通りの割合が増えている。これは、回数が多いということはそれだけ医師に診てもらえる機会が多いということであるので、医師がそのような情報がある程度把握してくれているので、患者が現状に満足しているのではないかと考えられる。

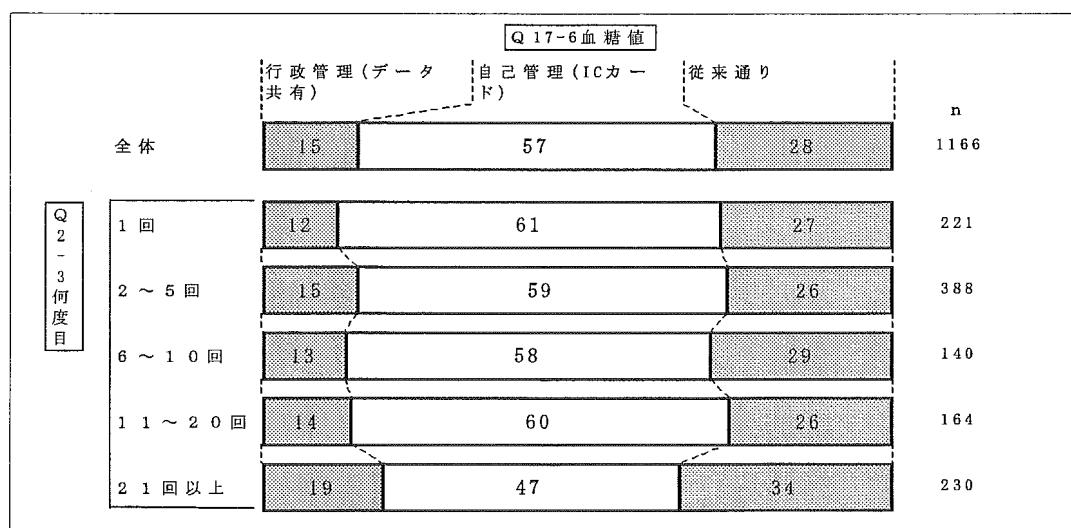
問 2-3「その病院に行くのが何回目ですか」と問 17-6「どのように血糖値の情報を管理した
いか」のクロス集計分析

質問方法：

「その病院に行くのが何回目ですか」

「どのように自分の血糖値の情報を管理したいですか」

		合計	Q 17-6血糖値			
			行政管理 (データ 共有)	自己管理 (ICカー ド)	従来通り	不明
全体		1166 100.0	153 15.2	569 56.4	287 28.4	157
Q 2 3 何 度 目	1 回	221 100.0	23 12.1	115 60.5	52 27.4	31
	2 ~ 5 回	388 100.0	49 15.1	191 58.8	85 26.2	63
	6 ~ 10 回	140 100.0	16 12.9	72 58.1	36 29.0	16
	11 ~ 20 回	164 100.0	20 14.2	85 60.3	36 25.5	23
	21 回以上	230 100.0	39 18.8	98 47.1	71 34.1	22



<考察>

最近診察を受けに行った病院に今まで行った回数に関係なく、同じような傾向が出ており、自己管理が最も多くなっている。これより、患者は血糖値の情報について個人で管理するのがメリットとデメリットの差が大きいと考えているということ、個人で管理したいと考えているのではと考えられる。また、回数が 21 回以上の場合では出は自己管理の割合がほかの場合に比べ小さくなり、その分、従来通りの割合が増えている。これは、回数が多いということはそれだけ医師に診てもらえる機会が多いということであるので、医師がそのような情報がある程度把握してくれているので、患者が現状に満足しているのではないかと考えられる。